

令和 7 年度

尾藤 2 号マンホールポンプ場
No. 1 汚水ポンプ修繕

一般・特記仕様書

福知山市上下水道部

第 1 章 一 般 共 通 事 項

第 1 節 総 則

- 1 本修繕は、契約書、設計書、本一般・特記仕様書、図面等により実施する。
- 2 本修繕の概要は、下記のとおりとする。

修 繕 概 要	
修繕名称	尾藤 2 号マンホールポンプ場 No.1 汚水ポンプ修繕
工 期	修繕開始日から 1 5 0 日間
対 象	(1) No.1汚水ポンプ 1 台 (2) その他付帯修繕 1 式

第 2 節 共 通 事 項

1 修繕範囲

本修繕は、本仕様書並びに設計図に示す、尾藤 2 号マンホールポンプ場 No.1 汚水ポンプ修繕による No.1 汚水ポンプの修繕およびその他付帯修繕を行うものである。

修繕に伴い、それに生じる手直しまでの一切を行うこと。

2 基本事項

- (1) 本修繕で当然必要なことは行うこと。
- (2) 修繕実施の際、建物その他を損傷しないように十分注意し、もし損傷した場合は、発注者の指示に従い、速やかに補修すること。
- (3) 修繕実施に伴い、作業員の安全、災害防止のために常に注意すること。
また、労働基準法等の法令に違反してはならない。

3 疑義等

受注者は、設計図書類に関して疑義が生じた場合、発注者と協議するものとする。

4 受注者の負担

本修繕に関連する次の事項及び必要な費用は、受注者の負担とする。

- (1) 設計図書に明記されていない事項であっても、修繕を行う上、欠くことのできない材料及び作業の費用。
- (2) 修繕実施において、第三者、物件に損害を与えた場合の補償及び復旧費用。

(3) N T T ・ 関 電 ・ 警 察 等 ・ 近 隣 自 治 会 等 を 含 む 必 要 な 申 請 等

5 施工管理

(1) 修繕の着手

ア 受注者は、修繕着手に当たって、着手届、修繕費内訳明細書、現場代理人届・主任技術者届・工程表等を提出すること。

修繕期間中に、上記の事項を変更する場合は、直ちに届け出ること。

イ 現場代理人は、修繕期間中の施工管理、材料、機械の保管、ならびに現場従業員の取締り等に当たること。

また、事の処理に当たり即決権を持ち、遂行できる者であること。

ウ 主任技術者は、設備技術に関する経験豊富な者で、本修繕にかかる技術的事項を統括、指導するものである。

エ 受注者は、優良な施工と円滑な行程進捗を計るため、善良で熟練した従業員を適正に配置し、整然とした作業を行うこと。

(2) 修繕実施中の管理

ア 施工の立会

受注者は、修繕完了後、外面から明視することのできない所、その他発注者が認めた箇所について、立会の上、施工しなければならない。

イ 記録写真

(ア) 受注者は、全体及び細部について、記録写真を撮影すること。

撮影は、工程の順序にしたがって施工の状態を、発注者の指示にしたがい、詳細に記録するものとする。

(イ) 修繕完了後、外部から検査できない箇所は、原則として撮影しなければならない。

その他、発注者が必要と認めた箇所については、適宜撮影しなければならない。

なお、修繕写真をデジタルカメラで撮影する場合、次のことを条件として、使用してもかまわないこととする。

a 有効画素数 200万画素以上

b プリント A4版カラー印刷専用用紙を使用（両面印刷の場合は裏写りしない用紙を使用すること。）

(3) 保管及び衛生管理

ア 受注者は、保安及び衛生について関係法規を守り、公衆に迷惑をおよぼさないこと。

関係法規に規定されていない事項についても、発注者の要求があれば、必要な手続きを行い、適当な処置を講じて承諾を受けること。

イ 保護具

修繕現場に於いては、保安帽その他必要な保護具を着用するなど、危険防止について十分な予防対策を講じること。

(4) 公害の防止

ア 修繕中は、付近住民の通行に支障を与えないこと。

イ 修繕実施に当たっては、騒音等について十分考慮し、必要な場合、消音装置を設けるなど、適当な措置を講じること。

ウ 受注者は、常に作業現場、作業用地内外の整理、整頓に留意し、建物の内外のプラント施工機械、資材等のあと片付け清掃を行うこと。

(5) 修繕の完了

ア 受注者は、修繕が完了したときは、速やかに完成図書と修繕完了届を提出すること。

イ 修繕終了後、受注者は、発注者の指示に従い、速やかに不要材料、仮設物、器具、機械等を撤去し、当該地区を整理清掃すること。

6 検 査

(1) 検査は、本修繕に含む箇所が規定の性能を発揮し、かつ通常外因によって毀損しないことを確認する検査、及び試験を行うものである。

(2) 検査に要する費用は、すべて受注者の負担とする。ただし発注者の派遣費は含まれない。

(3) 検査に合格した箇所でも、使用前、または使用中に不良箇所を発見した場合は、担当職員の指示により、適当な措置をしなければならない。

(4) 検査の内容は、次の通りである。

ア 完了検査

(ア) 修繕完了に当たり検査を受けるものとし、これに合格して受渡し完了とする。

(イ) 検査方法は、発注者が指示する。

(ウ) 完了検査を受ける場合、完成図書を作成し、提出すること。

なお、完成図書は下記のものとする。

完成図書	2 部
修繕記録写真	1 部（カラーサービス判）

7 修繕写真

本修繕における各工程の写真を、下記要領で撮影し、アルバムに収納し、指示する部数を提出すること。これに要する費用はすべて、受注者の負担とする。

- (1) 着手前・中・後
- (2) 搬入材料
- (3) 各種検査試験
- (4) その他発注者が指示する写真

第3節 修繕関係書類

受注者は、下記書類を定められた期日までに提出すること。

- | | |
|------------------------|----|
| (1) 修繕着手届 | 1部 |
| (2) 現場代理人・主任技術者届 | 1部 |
| (3) 工程表 | 1部 |
| (4) 完成図書 | 2部 |
| (5) 修繕完了届 | 1部 |
| (6) 関係機関との協議資料 | 2部 |
| (6) その他の書類（発注者の指示するもの） | |

第4節 適用規格

本修繕の施工にあたり、受注者は、下記の法規・規格・ならびにその他の関係法令・条例・規則等を遵守しなければならない。

- (1) 建設業法
- (2) 建築基準法
- (3) 消防法
- (4) 電気事業法
- (5) 電気用品取締法
- (6) 労働基準法
- (7) 労働安全衛生法
- (8) 騒音規制法
- (9) 廃棄物の処理および清掃に関する法律
- (10) 労働者災害補償保険法
- (11) 日本工業規格（JIS）
- (12) 電気設備技術基準
- (13) 電気規格調査会 標準規格（JEC）
- (14) 日本電機工業会 標準規格（JEM）
- (15) 内線規定（JEC）
- (16) 日本電信電話株式会社 技術基準
- (17) 日本水道協会 規格（JWWA）
- (18) 福知山市暴力団排除措置要綱
- (19) その他、この修繕に該当する法令・規格等

第5節 その他

- 1 受注者は、円滑な施工をするため、地元等の理解と協力が十分得られるよう調

整を行うとともに、地域の伝統的な行祭事等にも、十分な配慮を行うよう努めなければならない。

- 2 受注者は、修繕施工にあたり、暴力団等からの不当要求または不当な業務妨害等を受けた場合は、福知山市暴力団排除措置要綱条例に基づき、速やかに担当職員に報告し、警察署に届け出ること。

- 3 施工中は、環境の保全を考慮し、車両や建設機械等のアイドリングストップに努めなければならない。

また、使用する建設資材や建設機械等は、原則として省エネルギー、省資源に配慮したものでなければならない。

建設資材：「国等による環境物品等の調達の推進に関する法律（グリーン購入法）」に規程されている環境ラベル「エコマーク」付の建設資材等

建設機械：「エネルギーの合理化に関する法律（省エネ法）」に規程されている「エネルギー消費率に優れたガソリン貨物自動車」等

- 4 建設工事に関わる資材の再資源化等に関する法律（建設リサイクル法）に基づき、特定建設資材の分別解体および再資源化の実施について適正な措置を講じること。

- 5 本修繕で知り得た情報は、修繕完了後においても、口外・複写・複製・閲覧・貸出しなどによって、他に漏洩し、第三者の利用に供してはならない。

- 6 本修繕受注者は、法令に基づく社会保険に加入すること。

- 7 その他細部については、発注者の指示に従うこととする。

第 2 章 特記仕様書

第1節 汚水ポンプ 65A 1.5kW

本修繕で設置する主要機器の仕様は次のとおりとする。設置する機器類の性能は本仕様と同等以上を確保することとする

1. 機器仕様

(1) 尾藤2号マンホールポンプ場No.1汚水ポンプ

- | | |
|-----------|---------------------------|
| 1) 数量 | 1台 |
| 2) 形式 | ボルテックス型汚水用水中ポンプ（着脱装置仕様） |
| 3) 口径 | 65A |
| 4) 吐出量 | 0.19m ³ /min以上 |
| 5) 全揚程 | 7.0m以上 |
| 6) 電動機出力 | 1.5kW以下 |
| 7) 極数 | 4極 |
| 8) 周波数 | 60Hz |
| 9) 電圧 | 200V |
| 10) 相数 | 三相 |
| 11) 始動方式 | じか入 |
| 12) 保護装置 | オートカット又はサークルサーマルプロテクタ |
| 13) ケーブル長 | 35m |
| 14) 使用液 | 汚水、常温 |
| 15) その他 | 塗装：変性エポキシ樹脂塗料3回塗り |

※着脱バンド、ガイドパイプ、ガイドサポートは既設再使用とする。

(2) 主要部材質

- | | |
|----------|-------------------------|
| 1) 羽根車 | 13Crステンレス鋳鋼又は18Cr-8Ni鋳鋼 |
| 2) ケーシング | FC200以上 |
| 3) 主軸 | 13Crステンレス鋼 |
| 4) その他 | メーカー仕様によるものとする |

(3) 付属品

- | | | |
|-----------------------|-----------|----|
| 1) ガイドフック(ボルト付) | FCD450 | 1式 |
| 2) ポンプ昇降用チェーン(シャックル付) | SUS304 6m | 1式 |
| 3) ポンプ昇降用吊ボルト | | 1式 |
| 4) 予備銘板(現場保管用) | | 1枚 |
| 5) その他必要付属品 | | 1式 |

※上記材質は、SUS304を基本とし、耐久性を考慮したものとする。

(4) 備考

- | | |
|-------------|------------------------|
| 1) 既設機器型式 | S/CVL65W1.5（株式会社西島製作所） |
| 2) 既設機器製造番号 | P962520 |

第2節 注意事項

1. 機器手配前に既設機器の調査を行い、設置可能な仕様選定を行ったうえで納入仕様書を提出すること。
2. 本施設は稼働中である。更新を行う日程については、監督員、並びに施設維持管理業者と打ち合わせのうえ、決定することとする。なお、天候等外的要因により、当日作業中止を連絡することがあるものとする。
3. 撤去品（有価物）については処分前に洗浄を行い、マンホール槽外に汚泥等の流出を防ぐこと。